

診療科(講座)紹介

URL <http://www.fmu.ac.jp/home/int-med2/intmed2-top.htm>

- 1) 消化器・膠原病診療を専門領域として担当している。
- 2) 充実した指導医による上・下消化管や肝・胆・膵の消化器疾患、リウマチ、膠原病、アレルギー疾患の診療教育を行っている。
- 3) 内科、消化器、内視鏡、肝臓、リウマチ、アレルギー学会の認定医、専門医、指導医の資格を取得できる。

指導医(スタッフ)紹介



部長(教授)
大平 弘正

昭和62年 福島県立医科大学卒業

臨床専門分野

- 1) 自己免疫性肝疾患の診断と治療
- 2) 肝細胞癌の内科的治療
- 3) ウイルス性肝炎の治療

研究分野

- 1) 自己免疫性肝疾患における自己抗体
- 2) 原発性胆汁性肝硬変の病態

学会活動

- 1) 日本内科学会(評議員・指導医・認定医)
- 2) 日本消化器病学会(評議員・指導医・専門医)
- 3) 日本肝臓学会(評議員・指導医・専門医)
- 4) 日本消化器内視鏡学会(支部評議員・専門医)
- 5) 日本超音波医学会
- 6) 日本膵臓学会
- 7) 日本消化管学会
- 8) 日本老年医学会



リウマチ・膠原病内科
部長(教授)
渡辺 浩志

平成2年 福島県立医科大学卒業
平成6年 福島県立医科大学大学院
医学研究科修了

臨床専門分野

- 1) 膠原病
- 2) 関節リウマチ

研究分野

- 1) 全身性エリテマトーデスの病態
- 2) 自己免疫疾患の新規治療の開発

助教 岩館 治代

平成8年 福島県立医科大学卒業
臨床専門分野

- 1) リウマチ・膠原病内科
- 2) 一般内科

研究分野

- 1) 関節リウマチの臨床



リウマチ・膠原病内科
副部長(准教授)
小林 浩子

平成3年 福島県立医科大学卒業

臨床専門分野

- 1) 臨床免疫
- 2) アレルギー
- 3) リウマチ・膠原病

研究分野

- 1) 自然免疫と疾患
- 2) 炎症の抑制



学内講師 高橋 敦史

平成10年 福島県立医科大学卒業
平成14年 福島県立医科大学大学院
医学研究科修了

臨床専門分野

- 1) 自己免疫性肝疾患の診断と治療
- 2) 肝臓の診断と治療
- 3) 慢性肝炎・肝硬変の診断と治療

研究分野

- 1) 自己免疫性肝疾患の臨床研究
- 2) 非アルコール性脂肪肝疾患の病態



講師 片倉 響子

平成9年 福島県立医科大学卒業

臨床専門分野

- 1) 消化器内科・一般内科
- 2) 炎症性腸疾患の診断と治療

研究分野

- 1) 炎症性腸疾患と自然免疫：炎症性腸疾患発症のメカニズムの解明
- 2) Toll-like receptorとI型IFNシグナル伝達
- 3) 炎症性腸疾患の新規治療法の開発



助教 阿部 和道

平成11年 福島県立医科大学卒業
臨床専門分野

- 1) 消化器内科
- 2) 自己免疫性肝疾患の診断と治療
- 3) 肝臓、肝臓の診断と内科的治療

研究分野

- 1) 自然免疫と疾患(マウス肝疾患モデル、マウス腸炎モデル)
- 2) 自己免疫性肝疾患の病態解明



消化器内科
副部長(学内講師)
高木 忠之

平成9年 秋田大学医学部卒業

臨床専門分野

- 1) 消化器内科、胆膵疾患
- 2) 消化器内視鏡治療

研究分野

- 1) 膵癌の診断と治療
- 2) 新たな内視鏡手技の開発
- 3) 食道・胃静脈瘤の内視鏡診断と治療



助教 佐藤 匡記

平成13年 福島県立医科大学卒業
臨床専門分野

- 1) 消化器内科
- 2) 早期食道癌・胃癌治療

研究分野

- 1) 消化管粘膜下腫瘍
- 2) 早期胃癌の内視鏡治療



助手 鈴木 良磨

平成14年 岩手医科大学医学部卒業

臨床専門分野

- 1) 消化器内科
- 2) 炎症性腸疾患の診断と治療
- 3) 小腸疾患の診断と治療

研究分野

- 1) 炎症性腸疾患の発症メカニズムの解明
- 2) 小腸出血性病変

後期研修(専門医養成コース)プログラム

【大学病院と地域中核病院にて研修を行う】

	修得すべき手技や手術経験目標数など
1年次 (卒後3年)	<p>【消化器内科】 基本的な消化器検査手技を通じて、各種消化器病の病態と治療を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 腹部超音波検査：年間100例の検査に携わり超音波解剖と原理を理解する。 2. 上部消化管内視鏡検査：通常観察を中心に、上部内視鏡検査を行う(年間200件以上)。また、治療内視鏡の介助も行い、緊急時の対応もできるようにする。下部消化管内視鏡・胆膵内視鏡に関しては、介助を中心にを行い、各種検査・治療手技を理解することに重点を置く。 3. 消化管X線透視検査：上部消化管および下部消化管に対するX線透視検査の基本的技術を学ぶ(上下部で40例)。また、読影技術も学ぶ。 4. 上記のほか各種検査治療手段(肝生検、PEIT、腹部血管造影、PTBD、イレウス管挿入など)の介助に入り、治療手技の基本を学ぶ。 <p>【リウマチ・膠原病内科】 関節リウマチ、膠原病、アレルギーの基礎的知識を理解し、学術集会において症例報告の演者として発表する。</p>
2年次	<p>【消化器内科】 1年次に学んだ各種検査についてはさらに症例を重ねて研鑽を積む。特に腹部超音波検査と上部消化管内視鏡検査は、年間200例以上を術者として施行する。また、下部消化管内視鏡検査も術者として学び、年間20例以上は施行する。胆膵内視鏡や治療に関しては介助を中心に行うが、簡易な手技(胃ポリペクトミーなど)に関しては術者として施行することを目標とする。また、1年次同様に肝生検、PEIT、腹部血管造影、PTBD、イレウス管挿入などの各種検査治療手技も介助者として手技の基本を学び術者となることへの十分な知識と経験を積む。</p> <p>【リウマチ・膠原病内科】 リウマチ、膠原病、アレルギーの診断基準に即して診断ができ、免疫学的検査の評価が出来る。学術集会(国内・国際)において症例報告の演者として発表する。</p>
3年次	<p>【消化器内科】 過去2年間でやってきた各種検査についてはさらに症例を重ねて研鑽を積む。胆膵内視鏡に関しては、年間20症例以上は術者として手技に携わる。また、比較的簡便な治療内視鏡手技も術者として施行できるようにする。(APCによる焼灼手技、内視鏡的局所注入による治療など)。また、その他の消化器疾患に対する検査治療手技に関しては、比較的簡便な手技は指導医の立会いの下で術者としても携わり広く経験を積む。</p> <p>【リウマチ・膠原病内科】 リウマチ、膠原病、アレルギー疾患の診断基準・治療法を十分に理解し、患者に説明が出来る。学術集会(国内・国際)において症例報告し、論文を作成する。</p>
4年次	<p>【消化器内科】 これまでに学んできた消化器診療手段をもう一度基本から応用手技まで見直し、後期研修最終学年として後輩への指導も含めて一般的な消化器検査治療手技は独り立ちできるようにする。超音波内視鏡についても学び、年間20症例は術者として施行し、超音波内視鏡下生検も経験する。</p> <p>この他、経皮的な穿刺手技(肝生検、PEIT、PTBD)なども介助のみならず術者として施行できるようにする。この最終学年では、単に消化器診療手技だけでなく、総合的な治療戦略も理解・立案できるようにして、視野の広い消化器専門医を目指す。</p> <p>【リウマチ・膠原病内科】 リウマチ、膠原病、アレルギーの治療計画を立て、外来患者を診断・治療することが出来る。分担者として臨床あるいは基礎研究に参加する。</p>

大学院・留学について

大学院生・大学院研究生との併願を認めており、専門医と博士号の同時取得が可能です。国内(栃木県立がんセンター、久留米大学、東京医科歯科大学、愛知県がんセンター)、国外(NIH、Yale、UCSD、Florida、Texas)留学の実績があります。

専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標

【消化器内科】

消化器病学会専門医・消化管内視鏡学会専門医・肝臓学会専門医の取得を目指し、各種消化器病に対する幅広い知識を身につけ、適切な治療方針を立案できるようにし、かつ標準的な治療手技を身につけることを目標とする。特に、消化管内視鏡学会専門医取得のためには、上部消化管内視鏡検査が1,000件以上、下部消化管100件以上、治療内視鏡20例の経験が必要であり、治療内視鏡手技に関してはレポート提出が求められている。ポリペクトミーといった基本的な治療手技をはじめとして、消化管出血に対する内視鏡的止血、消化管異物除去、内視鏡的粘膜剥離術、胆管結石治療、悪性狭窄に対する内視鏡的ステント挿入、など、幅広い内視鏡治療手技を身につけていただく。

【リウマチ・膠原病内科】

日本リウマチ学会が認定した教育施設等において通年5年以上リウマチ学の臨床研修を行ったこと。内科認定医取得後3年以上の臨床研修歴を終了し、日本アレルギー学会が認定した教育施設等において3年以上アレルギー学の臨床研修を行ったこと。

後期研修協力病院

関連病院名		所在地	指導医名	職名
1	大原綜合病院	福島市	猪狩 弘之 海瀬 俊治	胃腸科部長 内科主任部長
2	福島赤十字病院	福島市	宮田 昌之 若槻 尊	副院長 消化器科副部長
3	済生会福島総合病院	福島市	栗原 陽一	副院長
4	公立藤田総合病院	国見町	近藤祐一郎 鈴木 修三	副院長 内科科長
5	済生会川俣病院	川俣町	佐久間博史	院長
6	太田西ノ内病院	郡山市	迎 慎二 菅野 孝	副院長 リウマチ科部長
7	公立岩瀬病院	須賀川市	吉田 直衛	院長
8	公立相馬総合病院	相馬市	熊川 宏美	副院長
9	塙厚生病院	塙町	佐川 恵一	院長
10	福島労災病院	いわき市	江尻 豊	消化器科部長

指導医からのメッセージ

消化器・膠原病内科は基本的な内科系の知識・技量が備わった上でその専門性が初めて発揮される診療科です。後期研修を幅広い診療を行う当講座でぜひ学んでみてください。